



尚美学園大学

大学基本情報 2023

(データは注記のない限り令和5年5月1日現在)

教育研究上の目的

□ 大学

学則 第1条 (目的)

本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、「智と愛」を建学の精神とし、総合的科学的思考の涵養を教育方針として、広範な教養を授けるとともに、芸術と情報及び政策を専門的かつ学際的に教授研究し、その深奥を究めて、各分野において指導的役割を果たしうる創造力と表現力並びに実践力を有する人材を育成することを目的とする。

学則 第1条の2 (学部及び学科の目的)

本学に置く学部及び学科の人材養成及び教育研究上の目的は、次のとおりとする。

芸術情報学部

様々な芸術表現とメディアを駆使した表現を追求するため、社会的に通用する情報表現及び音楽表現における幅広い分野にわたっての専門的能力を持った人材を養成することを目的とする。

情報表現学科

社会の高度情報化において、従来の芸術教育に情報・メディアコミュニケーションを統合した先見的な教育研究を行うことを目的とする。

音楽表現学科

器楽、声楽、ジャズ&ポップス、音楽創作の各分野における専門性の追求と同時に多角的な視座を養う教育研究を行うことを目的とする。

音楽応用学科

音楽ビジネスの世界における音楽制作と音楽産業の各分野の専門性の追求と同時に多角的な視座を養う教育研究を行うことを目的とする。

舞台表現学科

舞台における表現を実践的かつ理論的に追求し、舞台芸術の伝統を踏まえ、あらゆる視座から将来への可能性を広げる教育研究を行うことを目的とする。

総合政策学部

現代社会におけるさまざまな政策課題を、政治、経済、法律、情報、文化などの諸分野にわたって研究し、問題発見—問題解決型の思考様式に基づいて政策立案できる人材を養成することを目的とする。

総合政策学科

社会科学の専門的知識を学び、国、地方自治体、企業、団体などの抱える政策課題を研究し、そのうえで問題解決を図ることができるような人材を養成することを目的とする。

スポーツマネジメント学部

スポーツマネジメント学科

多角的な視点からスポーツに対する理解を深め、現代社会における多様な課題を探究、解決できる人材を養成すること、また、マネジメントの視点から、スポーツにおける多様な価値を実践的、論理的に追求する教育研究を行うことを目的とする。

□ 大学院

学則 第59条（修士課程）

本学の大学院の修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うものとする。

学則 第59条の2（研究科及び専攻の目的）

本学に置く研究科及び専攻の人材養成及び教育研究上の目的は、次のとおりとする。

芸術情報研究科

様々な芸術表現の可能性やメディアを駆使した芸術を多角的に追求するため、社会的、国際的に通用する情報表現及び音楽表現における幅広い分野にわたって高度の専門的能力を持った職業人を養成する。

情報表現専攻

映像・音響、CG・美術、ゲーム・ソーシャルネットワークの各分野に関する幅広い基礎の上に新しい時代のメディアコンテンツの制作や研究開発に関する教育研究を行うことを目的とする。

音楽表現専攻

器楽、声楽、ジャズ&コンテンポラリー、音楽創作、アート・マネジメント、音楽教育及び音楽理論の各分野に関する個々の分野での高度の専門性を追求と同時に多角的な視座を養う教育研究を行うことを目的とする。

総合政策研究科

国及び地方自治体並びに企業等で活躍し得る豊かな創造性と的確な判断力を備えた高度の専門的能力を持った職業人を養成する。

政策行政専攻

ガバナンス・個別政策研究及び国際関係・地域研究を主たる研究対象とし、行政に重点を置いた政策の立案・実施・評価に関する教育研究を行うことを目的とする。

入学定員・収容定員

□ 大学

学則 第4条（学部）

本学の学部、学科、その収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
(1) 芸術情報学部	情報表現学科	190名	10名	780名
	音楽表現学科	70名	20名	320名
	音楽応用学科	70名	10名	300名
	舞台表現学科	70名	10名	300名
(2) 総合政策学部	総合政策学科	100名	—	400名
(3) スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	160名	—	640名
合 計		660名	50名	2,740名

2 総合政策学科及びスポーツマネジメント学科への編入学は、収容定員に対する欠員の状況を勘案して行うものとする。

□ 大学院

学則 第5条（大学院）

本学に大学院を置き、課程は修士課程とし、研究科、専攻、その収容定員は、次のとおりとする。

研究科	専攻	入学定員	収容定員
芸術情報研究科	情報表現専攻	10名	20名
	音楽表現専攻	10名	20名
総合政策研究科	政策行政専攻	10名	20名
合 計		30名	60名

入学者受入方針、教育課程編成・実施方針、学位授与方針

□ [3つのポリシー](#)

学修成果の評価の基準

□ [アセスメント・ポリシー](#)

教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力

□ [学部・学科・大学院](#)

校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境

- [キャンパス案内](#)
- [大学までのアクセス](#)
- [学生の修学、進路選択及び心身の健康等の支援](#)
- [メディアセンター](#)
- [メディアセンター蔵書数](#)

図書		学術雑誌		視聴覚資料 (点数)	電子ジャーナル (種類)
冊数	うち外国書	種類	うち外国書		
157,307	23,527	835	145	32,246	15

学修の成果にかかる評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準

□ 大学

学則 第29条（授業科目）

授業科目は、必修科目、選択科目及び自由科目に分ける。授業科目は、教授会の定めるところに従い、各年次の春学期又は秋学期に配当する。

- 2 各学期に配当された科目は、その学期に限り履修することができる。ただし、下級学期に配当された授業科目を上級学期において履修することは妨げない。
- 3 各学期に履修できる授業科目は、第31条に定める単位の計算方法に基づき、22単位を上限とする。ただし、自由科目はこれに含めない。
- 4 各学期に演習を2単位以上履修し、第42条に定める評点について、別途各学部で定める内規により一定の基準を満たす者に対し、26単位までの履修を認めることがある。
- 5 授業科目の種類、単位数等は、別表第1のとおりとする。
- 6 授業科目の履修方法に関し必要な事項は、別に定める。

学則 第30条（授業の方法）

授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、文部科学大臣が定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

学則 第31条（単位計算方法）

授業科目の単位計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 外国語科目については、30時間の授業をもって1単位とする。
 - (4) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、10時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業研究、卒業演奏及び卒業作品の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を与えることができる。

学則 第32条（単位の授与）

授業科目を履修し、第41条に定める審査方法に合格した者には、所定の単位を与える。

学則 第34条（成績評価基準等の明示等）

各学部は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

- 2 各学部は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

学則 第41条（審査方法）

学業成績については、学期末試験を行い、中間試験、タームペーパー等の成績を勘案して審査する。

- 2 やむをえない理由のため、定期の試験を受けられなかった授業科目については、追試験を受けることができる。
- 3 定期試験及び追試験を受けなかった授業科目については、その理由のいかんにかかわらず不合格とする。
- 4 不合格科目については、改めて履修することを妨げない。
- 5 外国語、情報科目、特論、基礎演習、演習及び総合演習等、試験あるいは試験のみによる学業成績の審査を適当としない授業科目については、教授会が他の審査方法を定めることがある。
- 6 各試験の時期等については、別に定める。

学則 第42条（成績）

授業科目の試験等の成績は、秀、優、良、可、不可の5種の評語をもって表わし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。合格した授業科目については、所定数の単位を与える。

- (1) 学業成績の到達度は、平均評点値をもって表示する。
- (2) 平均評点値は、履修した自由科目を除くすべての授業科目の各評語について、1単位あたり秀4点、優3点、良2点、可1点、不可0点の評点を与えることによって算出する。
- (3) 各授業科目の担当者は、履修者に与えた評語の比率を開示しなければならない。

学則 第43条（授業評価）

各学期末に、各授業科目について担当教員に対する履修者の評価を調査しなければならない。

学則 第52条 (卒業)

本学学部にて4年以上在学し、次表の条件を満たし、かつ124単位以上を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。ただし、第4年次において原級にとどめられ、春学期において卒業要件を満たした者は教授会の議を経て、学長が卒業を認定することがある。

科目	学部、学科	総合政策学部		スポーツマネジメント学部
	芸術情報学部 情報表現学科 音楽表現学科 音楽応用学科 舞台表現学科	総合政策学科	ライフマネジメント学科	スポーツマネジメント学科
(1) 教養科目	26 単位以上		30 単位以上	
(2) 専門科目	86 単位以上		82 単位以上	
(3) 学部間自由選択科目	12 単位以内		12 単位以内	
合計	124 単位以上		124 単位以上	

2 所属学部の許可を得て他学部他学科の専門科目を履修した場合、所属学部の定める単位数の授業科目を当該学部又は学科の専門科目の修得単位にかえることができる。

3 学部間自由選択科目とは上表(1)及び(2)の修得単位の要件を満たした上、これら諸科目に属する他学部他学科の授業科目を自由に選択し、かつ卒業に必要な修得単位数に算入できるものをいう。ただし、他学部他学科の授業科目の履修については当該学部の許可を要する。

□ 大学院

学則 第65条 (履修方法)

学生は、大学院にて2年以上在学し、次に掲げる各専攻の授業科目を30単位以上修得しなければならない。

芸術情報研究科情報表現専攻

専門科目

選択必修 6 単位以上

選択 18 単位以上

(音楽表現専攻の科目を2科目4単位まで修得できるものとする。)

(総合政策研究科の科目を2科目4単位まで含むことができる。)

論文・制作特別演習(必修) 6 単位

芸術情報研究科音楽表現専攻

専門科目

選択必修 8 単位以上又は16 単位以上

選択 18 単位以上又は10 単位以上

(情報表現専攻の科目を2科目4単位まで含むことができる。)

論文特別演習又はリサイタル演習(選択必修) 4 単位以上

総合政策研究科政策行政専攻

基本科目 8 単位以上

関連科目 14 単位以上

総合政策特殊研究 8 単位

2 履修方法に関し必要な事項は、別に定める。

学則 第73条 (課程修了の要件及び認定)

大学院を修了するためには、第60条に規定する標準修業年限以上在学し、授業科目について所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文(修士論文並びに修士制作及び修士演奏を含む。以下この条において同じ。)又は特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者と認められる者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

2 大学院修了の認定は、研究科委員会が行う。なお、第2年次において原級にとどめられ、春学期において修了要件を満たした者は研究科委員会の議を経て、修了を認定することがある。

3 学位論文の審査及び最終試験については尚美学園大学大学院学位規程(以下「学位規程」という。)の定めるところによる。

成績評価の指標（GPA）の概要

□ 本学で成績評価の指標とする GPA（Grade Point Average）の算出方法

○本学におけるGPAの内容(指標の算出方法)

各学期末に行われる成績評価(総合点)によって行う。

100～60 点は合格、59 点以下は不合格。カッコ内はグレードポイント（GP）

秀(4)100～90 点、優(3)89～80 点、良(2)79～70 点、可(1)69～60 点、不可(0)59 点以下、失格・欠席(0)

GPA の計算式: $GPA = (GP \times \text{単位数}) \text{の総和} \div \text{履修単位数の総和}$

(GPA は、小数点第三位の値を四捨五入し、小数点第二位までとする)

○本学におけるGPAの適切な実施状況

本学では春学期(前期)及び秋学期(後期)の期末試験実施終了後、それぞれ確定した成績をもとに GPA 計算式により算出し、成績表に過去の GPA の数値の推移とともに記載し、学生にフィードバックしている。その GPA の状況により、指導担当者(アドバイザー)より履修指導を実施している。また、GPA が基準を上回った場合には、履修上限単位数を 22 単位から 26 単位にする対応も行っている。

○授業の成績分布状況は、学期毎に成績評価の比率(指標の比率)を公表している

取得可能な学位

□ 大学

学 部	学 科	学位名称
芸術情報学部 Faculty of Informatics for Arts	情報表現学科 Department of Information Expression	学士（芸術情報）
	音楽表現学科 Department of Music Expression	学士（芸術情報）
	音楽応用学科 Department of Music Business Development	学士（芸術情報）
	舞台表現学科 Department of Performing Arts	学士（芸術情報）
総合政策学部 Faculty of Policy Management	総合政策学科 Department of Policy Management	学士（総合政策）
	ライフマネジメント学科 Department of Human Life Management	学士（総合政策）
スポーツマネジメント学部 Faculty of Sport Management	スポーツマネジメント学科 Department of Sport Management	学士（スポーツマネジメント）

□ 大学院

研究科	学 科	学位名称
芸術情報研究科 School of Informatics for Arts	情報表現専攻 Division of Media Arts	修士（情報表現）
	音楽表現専攻 Division of Musical Arts	修士（音楽表現）
総合政策研究科 School of Policy and Management Studies	政策行政専攻 Public Policy and Administration Studies	修士（総合政策）

授業科目

[WEBシラバス](#)

資格の取得

[教職課程](#)

[学芸員課程](#)

[その他資格](#)

○サッカー審判員

公益財団法人日本サッカー協会の審判員制度である「サッカー審判員4級」の資格を1年次に原則取得し、4年間更新を行っています。また、その中でも優秀な審判員は、「同審判員3級」の資格を取得しています。

公益財団法人日本サッカー協会／審判員に関するHP：<http://www.jfa.jp/referee/system/>

○日本語能力試験N1取得

現在、本学では311名（2023年5月1日現在）の留学生在籍し、日本で就職を目指す留学生には最低限必要となる「日本語能力試験N1」の資格取得を積極的に勧めています。そこで、本学後援会（保護者組織）からの補助を活用し、N1合格者に対して受験料の補助を行っております。

過去のN1合格者で補助を利用した留学生は以下の通りです。

2021年度：27名

2022年度：18名

※補助を利用した人数であり、合格者が上記数より多いことがあります。

主催：公益財団法人日本国際教育支援協会／独立行政法人国際交流基金 HP：<http://info.jees-jlpt.jp/what/>

海外協定校

[海外交流・研修](#)

大学間連携

[彩の国大学コンソーシアム](#)

産官学連携

[尚美総合芸術センター](#)

学事予定

□ 令和5年度（令和5年4月1日現在）

	月	火	水	木	金	土	日						
4月						1	2						
	3	オリエンテーション	4	入学式 オリエンテーション	5 ①	春学期開講 履修登録(～4/11)	6 ①	7 ①	8	9			
	10 ①		11 ①		12 ②	オンライン授業開講	13 ②		14 ②	15	16		
	17 ②		18 ②		19 ③		20 ③		21 ③	22	23	オープンキャンパス	
	24 ③		25 ③		26 ④		27 ④		28 ④	29	昭和の日 レッスン(音楽・舞台)	30	
5月	1 ④		2 ④		3	憲法記念日	4	みどりの日	5	こどもの日	6	7	
	8 ⑤		9 ⑤		10 ⑤		11 ⑤		12 ⑤	大学説明会(川越)	13	14	
	15 ⑥		16 ⑥		17 ⑥		18 ⑥		19 ⑥		20	後援会定期総会	21
	22 ⑦		23 ⑦	大学説明会(新宿)	24 ⑦		25 ⑦		26 ⑦		27	28	オープンキャンパス
	29 ⑧		30 ⑧		31 ⑧								
6月							1 ⑧		2 ⑧		3	4	
	5 ⑨		6 ⑨		7 ⑨		8 ⑨		9 ⑨		10	11	オープンキャンパス
	12 ⑩		13 ⑩		14 ⑩		15 ⑩		16 ⑩		17	18	レッスン(音楽・舞台)
	19 ⑪		20 ⑪		21 ⑪		22 ⑪		23 ⑪		24	25	オープンキャンパス
	26 ⑫		27 ⑫		28 ⑫		29 ⑫		30 ⑫				
7月											1	2	
	3 ⑬		4 ⑬		5 ⑬		6 ⑬		7 ⑬		8	9	オープンキャンパス
	10 ⑭		11 ⑭		12 ⑭		13 ⑭		14 ⑭		15	16	
	17	海の日	18 ⑮	期末試験期間	19 ⑮	期末試験期間	20 ⑮	期末試験期間	21 ⑮	期末試験期間	22	23	
	24 ⑯	期末試験期間	25	春学期実技試験	26	春学期実技試験	27	春学期実技試験	28	オープンキャンパス	29	(百万灯まつり)	30
31	春学期追試験 レッスン(音楽・舞台) アドバイス(応用)												
8月			1	春学期追試験	2	春学期実技試験	3		4	オープンキャンパス	5	6	
	7		8		9		10		11	山の日	12	13	
	14	閉校期間	15	閉校期間	16		17		18	オープンキャンパス	19	20	
	21	レッスン(音楽・舞台) アドバイス(応用)	22	卒業判定教授会	23		24	9月卒業生発表	25	オープンキャンパス	26	27	
	28		29		30		31	春学期再試験					
9月									1		2	3	
	4		5	追加卒業判定教授会	6		7	追加卒業生発表	8		9	レッスン(音楽・舞台) アドバイス(応用)	10
	11		12		13		14	9月学位授与式 (予定)	15		16	17	オープンキャンパス
	18	敬老の日	19		20		21 ①	秋学期開講 履修登録(～9/27)	22 ①		23	秋分の日 総合型選抜Ⅰ期	24
	25 ①		26 ①		27 ①		28 ②	オンライン授業開講	29 ②		30		

	月	火	水	木	金	土	日
10月							1
	2 ㉒	3 ㉓	4 ㉔	5 ㉕	6 ㉖	7 後援会保護者懇談会 レッスン(音楽・舞台) アドバイス(応用)	8
	9 スポーツの日	10 ㉗	11 ㉘	12 ㉙	13 ㉚	14 (川越まつり)	15 (川越まつり)
	16 ㉛	17 ㉜	18 ㉝	19 尚美祭準備 (休講)	20 尚美祭準備 (休講)	21 尚美祭	22 尚美祭
	23 尚美祭片付け (休講)	24 ㉞	25 ㉟	26 ㊱	27 ㊲	28 総合型選抜Ⅱ期 特別選抜A日程	29 オープンキャンパス
	30 ㊳	31 ㊴					
11月			1 ㊵	2 ㊶	3 文化の日 レッスン(音楽・舞台)	4	5
	6 ㊷	7 ㊸	8 ㊹	9 ㊺	10 ㊻	11	12
	13 ㊼	14 ㊽	15 ㊾	16 ㊿	17 ㋀	18 総合型選抜Ⅲ期 特別選抜B日程 編入学Ⅰ期 大学院Ⅰ期	19
	20 ㋁	21 ㋂	22 ㋃	23 勤労感謝の日	24 ㋄	25 学校推薦型選抜Ⅰ期 【指定校・公募】	26
	27 ㋅	28 ㋆	29 ㋇	30 ㋈			
12月					1 ㋉	2 レッスン(音楽・舞台)	3
	4 ㋊	5 ㋋	6 ㋌	7 ㋍	8 ㋎	9	10 オープンキャンパス
	11 ㋏	12 ㋐	13 ㋑	14 ㋒	15 ㋓	16	17
	18 ㋔	19 ㋕	20 ㋖	21 ㋗	22 ㋘	23 学校推薦型選抜Ⅱ期 【指定校・公募】 総合型選抜Ⅳ期	24
	25 ㋙ 年内最終授業日	26	27	28	29 閉校期間	30	31
1月	1 元旦	2 年末年始休暇	3 年末年始休暇	4	5	6	7
	8 成人の日	9	10	11 ㋚ 年明け授業開始	12 ㋛	13	14
	15 ㋜	16 ㋝	17 ㋞	18 ㋟	19 ㋠	20	21
	22 ㋡	23 ㋢ 期末試験期間	24 ㋣ 期末試験期間	25 ㋤ 期末試験期間	26 ㋥ 期末試験期間	27 特待生選抜	28 一般選抜A日程
	29 ㋦ 期末試験期間	30 秋学期実技試験	31 秋学期実技試験				
2月				1 秋学期実技試験	2 秋学期実技試験	3	4 レッスン(音楽・舞台)
	5	6 創立記念日	7 秋学期追試験	8 秋学期追試験	9	10	11 建国記念の日
	12 振替休日	13	14	15	16	17 学校推薦型選抜Ⅲ期 【指定校・公募】 総合型選抜Ⅴ期 一般選抜B日程 特別選抜C日程 編入学Ⅱ期	18
	19	20 卒業判定教授会	21 卒業発表	22	23 天皇誕生日	24	25
	26	27	28 秋学期再試験	29			
3月					1	2	3
	4	5 追加卒業判定教授会	6	7 追加卒業発表	8	9	10
	11	12	13	14 学位授与式 (予定)	15 一般選抜C日程 編入学(SMC) 大学院Ⅱ期	16	17
	18	19	20 春分の日	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31 オープンキャンパス

学費

□ 大学

(単位：円)

学 部	学 科	入学金	授業料	教育充実費	合計
芸術情報学部	情報表現学科	250,000	1,000,000	400,000	1,650,000
	音楽表現学科	250,000	1,250,000	400,000	1,900,000
	音楽応用学科	250,000	1,250,000	400,000	1,900,000
	舞台表現学科	250,000	1,250,000	400,000	1,900,000
総合政策学部	総合政策学科	200,000	750,000	250,000	1,200,000
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	200,000	800,000	280,000	1,280,000

□ 大学院

(単位：円)

研究科	専 攻	入学金	授業料	教育充実費	合計
芸術情報研究科	情報表現専攻	185,000	850,000	200,000	1,235,000
	音楽表現専攻	185,000	1,100,000	200,000	1,485,000
総合政策研究科	政策行政専攻	140,000	680,000	120,000	940,000

特待制度

特待制度の状況

① 特待生選抜（入学試験特待生（試験成績優秀者））

特待生を希望し、入学試験（特待生選抜）において本学の基準を満たす成績を修めた者を対象として、試験結果の上位から選定します。

定 員：10名以内（一般選抜募集人員に含む）

免除額：授業料全額、授業料半額、授業料の30%の3種類

② 在学生特待制度（成績優秀者）

在学生のうち学業成績の優秀な者を特待生として処遇し、勉学を奨励します。

減免額…授業料全額（最大）

人数…18名（各学科・各学年（2・3・4年）から1名）

対象…前年度の学業成績（GPA）上位者

入学試験特待生 ※A0入試 特待生（情報表現学科のみ）含む

	情報表現	音楽表現	音楽応用	舞台表現	総合政策	スポーツマネジメント
1年	3	1	6	0	1	2
2年	2	2	2	1	0	0
3年	4	1	2	1	2	0
4年※	4	0	0	0	0	0

スポーツ特別奨学生

	情報表現	音楽表現	音楽応用	舞台表現	総合政策	スポーツマネジメント
1年	0	0	0	0	3	8
2年	0	0	0	0	3	11
3年	0	0	0	0	2	15
4年	0	0	0	0	3	13

在学生特待生（成績優秀者）

	情報表現	音楽表現	音楽応用	舞台表現	総合政策	スポーツマネジメント
2年	1	1	1	1	1	1
3年	1	1	1	1	1	1
4年	1	1	1	1	1	1

□ 日本学生支援機構奨学金

教育の機会均等の理念のもと、意欲と能力のある学生等が、自らの意志と責任において大学等で学ぶことができるよう、国の重要な教育事業として実施されています。

◇貸与奨学金

○種類(金額は月額)

学部生

・第一種奨学金(利息なし)

自宅通学者: 20,000 円、30,000 円、40,000 円、54,000 円

自宅外通学者: 20,000 円、30,000 円、40,000 円、50,000 円、64,000 円

※給付奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、貸与を受けられる月額の上限額が制限されます。

※申込時の家計収入が一定額以上の場合は、各区分の最高月額以外の月額から選択することになります。

・第二種奨学金(利息付)

20,000 円から 120,000 円までの間で、10,000 円単位で月額を選択できます。

大学院生(修士課程相当)

・第一種奨学金(利息なし)

50,000 円、88,000 円

・第二種奨学金(利息付)

50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円

○推薦基準(詳細は日本学生支援機構 HP をご覧ください。)

学習活動、その他生活の全般を通じて態度・行動が学生にふさわしく、将来良識のある社会人として活動できる見込みがあり、人物・学力の申込基準を満たしている奨学金申込者を本学で選考の上、機構に推薦をして家計審査を行い、奨学生としての採用が決定されます。

①学力基準

学部生

・「第一種奨学金のみ」または「併用貸与」

1 年次生: 高等学校または専修学校高等課程最終 2 か年の成績の平均が 3.5 以上であること。または、高等学校卒業程度認定試験合格者であること。

2 年次生以上: 本人の属する学部(科)の上位 3 分の 1 以内であること。

・「第二種奨学金」

出身学校または在籍する学校における成績が平均水準以上と認められること。

大学院生

・「第一種奨学金のみ」または「併用貸与」

大学等・大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができることと認められること。

・「第二種奨学金」

大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること。

②家計基準

学部生

以下のいずれかに該当すること

・申込時の家計支持者の年収(給与所得の場合)・所得金額(給与以外の収入の場合)等から、特別控除額を差し引いた金額が、日本学生支援機構が世帯人数ごとに設定した収入基準額以下であること。

・生計維持者の住民税が非課税である者、生活保護受給世帯の者、又は社会的養護を必要とする者(児童養護施設等入所者、里親による養育を受けている者等)のいずれかであること。

大学院生

本人の収入(定職、アルバイト、父母等からの給付、奨学金、その他の収入により本人が 1 年間に得た金額)と配偶者の定職収入の合計額が、日本学生支援機構が設定した基準以下であること。

◇給付奨学金(高等教育の修学支援新制度)

経済的理由で大学・専門学校等への進学をあきらめないよう、2020 年 4 月から開始した制度です。

世帯収入の基準を満たしていれば、成績だけで判断せず、しっかりと「学ぶ意欲」を確認のうえ、支援を受けることが出来ます。また、給付奨学金の対象となれば、授業料・入学金も減免されます。

○支給額

給付奨学生として採用されてから卒業する(修業年限の終期)まで、世帯の所得金額に基づく区分に応じて、学校の設置者(国公立・私立)及び通学形態(自宅通学・自宅外通学)により定まる下表の金額(月額)が、原則として毎月振り込まれます。

【私立大学の場合】

<自宅通学者>

第一区分: 38,300 円(42,500 円)

第二区分: 25,600 円(28,400 円)

第三区分:12,800円(14,200円)

<自宅外通学者>

第一区分:75,800円

第二区分:50,600円

第三区分:25,300円

1.生活保護世帯(受けている扶助の種類を問いません。)で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人等は、自宅通学者のカッコ内の金額となります。

2.自宅通学とは、学生が生計維持者(父母等)と同居している(またはこれに準ずる)状態のことをいいます。「自宅外通学」の月額を選択する場合、自宅外通学であることの証明書類の提出が必要です。

○貸与奨学金(第一種奨学金・第二種奨学金)を併せて利用する場合

給付奨学金と第一種奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の貸与月額が制限されます。なお、第二種奨学金の貸与月額には、給付奨学金の利用は影響しません。

【給付奨学金受給中の第一種奨学金の貸与月額(私立大学)(単位:円)】

<自宅通学者>

第一区分:0円

第二区分:0円

第三区分:21,700(20,000、30,300)円

<自宅外通学者>

第一区分:0円

第二区分:0円

第三区分:19,200円

※親と同居している生活保護世帯の人、児童養護施設等から通学する人は、()内の金額となります。

○申込資格(詳細は日本学生支援機構HPをご覧ください。)

次の(1)及び(2)の両方に該当する人が申し込みます。

(1)大学等への入学時期等に関する資格

(2)在留資格等に関する資格

○選考基準(詳細は日本学生支援機構HPをご覧ください。)

給付奨学金の支給を受けるには、次の(1)と(2)の両方を満たす必要があります。

(1)学業成績等に係る基準

学業成績等に係る基準は以下のとおりです。

【1年次】

次の1~3のいずれかに該当すること。

1:高等学校等における評定平均値が3.5以上であること、又は、入学者選抜試験の成績が入学者の上位2分の1の範囲に属すること

2:高等学校卒業程度認定試験の合格者であること

3:将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること

【2年次以上】

次の1、2のいずれかに該当すること。

1:GPA(平均成績)等が在学する学部等における上位2分の1の範囲に属すること

2:修得した単位数が標準単位数以上であり、かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書により確認できること

※採用基準となるGPA・修得単位数はともに「入学時から前年度(前学年)末までの累積」によって判定されます。

※標準単位数以上でないことについて、災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められる場合には、修得単位数が標準単位数未満であっても、学修意欲を有することが確認できれば、この基準を満たすこととなります。

※標準単位数=卒業に必要な単位数÷修業年限×申込者の在学年数

ただし、在学中の学業成績が次の1~3のいずれかの基準に該当する場合は、支給対象外となります。

1. 修業年限で卒業又は修了できないことが確定したこと。
2. 修得した単位数の合計数が標準単位数の5割以下であること。
3. 履修科目の授業への出席率が5割以下であることその他の学修意欲が著しく低い状況にあると認められること。

※1 1.~3.のいずれかの基準に当てはまる場合であっても、災害・傷病、その他のやむを得ない事由がある場合は、支給対象となり得ます。

※2 編入学や転学をしている場合、編入学や転学前の学校で1.~3.のいずれかの基準に当てはまる場合は採用となりません。

(2) 家計に係る基準(収入基準・資産基準)

あなたと生計維持者が、次の「収入基準」及び「資産基準」のいずれにも該当する必要があります。

父母がいる場合は、原則として父母(2名)が「生計維持者」となりますが、生計維持者が誰であるか不明な場合は、日本学生支援機構 HP の「生計維持者について」、もしくは「生計維持者に係る Q&A」をご確認ください。

1. 収入基準

収入基準は以下のとおりです。(日本学生支援機構 HP 内の「進学資金シミュレーター」で、収入基準に該当するかおおよその確認ができますので、ご利用ください。)

【第一区分】あなたと生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること(※1)。

【第二区分】あなたと生計維持者の支給額算定基準額(※2)の合計が100円以上25,600円未満であること。

【第三区分】あなたと生計維持者の支給額算定基準額(※2)の合計が25,600円以上51,300円未満であること。

※1 ふるさと納税、住宅ローン控除等の税額控除の適用を受けている場合、各区分に該当しない場合があります。

※2 支給額算定基準額(a) = 課税標準額 × 6% - (調整控除額 + 調整額)(b)(100円未満切り捨て)

支給額算定基準額を算出するための「課税標準額」「調整控除額」「調整額」は、課税証明書や所得証明書に必ず記載されているものではありません。なお、「マイナポータル」を活用すれば、市町村民税の課税標準額などを調べることができます。

(a) 市町村民税所得割が非課税の人は、(※1)の場合を除き、この計算式にかかわらず、支給額算定基準額が0円となります。

(b) 政令指定都市に対して市民税を納税している場合は、(調整控除額 + 調整額)に4分の3を乗じた額となります。

2. 資産基準

あなたと生計維持者(2人)の資産額(※)の合計が2,000万円未満(生計維持者が1人のときは1,250万円未満)であること。

※資産とは、現金やこれに準ずるもの(投資用資産として保有する金・銀等、預貯金、有価証券の合計額を指し、土地等の不動産は含みません)。

なお、資産に関する証明書(預金通帳のコピー等)の提出は不要です。

2022年度 日本学生支援機構奨学金 給付・貸与者数

学部	学科	種別	1年	2年	3年	4年	種別計
芸術情報学部	情報表現学科	給付	25	24	21	25	95
		第一種	24	32	36	34	126
		第二種	47	51	59	54	211
	音楽表現学科	給付	8	5	12	10	35
		第一種	5	7	10	11	33
		第二種	9	19	22	20	70
	音楽応用学科	給付	7	9	7	4	27
		第一種	7	10	9	7	33
		第二種	15	12	20	19	66
	舞台表現学科	給付	0	2	3	6	11
		第一種	4	4	3	9	20
		第二種	5	8	8	12	33
総合政策学部	総合政策学科	給付	3	11	10	9	33
		第一種	8	12	10	13	43
		第二種	8	25	26	27	86
	ライフマネジメント学 科	給付	0	0	0	1	1
		第一種	0	0	0	2	2
		第二種	0	0	0	1	1
スポーツマネジメント 学部	スポーツマネジメント 学科	給付	18	32	26	25	101
		第一種	24	42	38	26	130
		第二種	37	51	70	70	228
学年別計		給付計	61	83	79	80	303
		第一種計	72	107	106	102	387
		第二種計	121	166	205	203	695
		合計	254	356	390	385	1385

研究科	専攻	種別	1年	2年	種別計
芸術情報研究科	情報表現専攻	第一種	0	1	1
		第二種	0	0	0
	音楽表現専攻	第一種	0	2	2
		第二種	0	1	1
総合政策研究科	政策行政専攻	第一種	0	0	0
		第二種	0	0	0
学年別計		第一種	0	3	3
		第二種	0	1	1
		合計	0	4	4

□授業料等減免（高等教育の修学支援新制度）

日本学生支援機構 給付奨学金と同一の基準となっており、給付型奨学金の対象者が併せて対象者となります。世帯収入に応じた3段階の区分で支援額が決まります。

◇減免額一覧

○入学金

学 部	第一区分	第二区分	第三区分
芸術情報学部	250,000 円	166,700 円	83,400 円
総合政策学部	200,000 円	133,400 円	66,700 円
スポーツマネジメント学部	200,000 円	133,400 円	66,700 円

○授業料（年間）

2020 年度以降入学者

学 部	第一区分	第二区分	第三区分
全学部	700,000 円	466,700 円	233,400 円

2019 年度以前入学者

学 部	第一区分	第二区分	第三区分
芸術情報学部	700,000 円	466,700 円	233,400 円
総合政策学部	680,000 円	453,400 円	226,700 円

学生データ (令和5年5月30日現在)

□ 入学者数

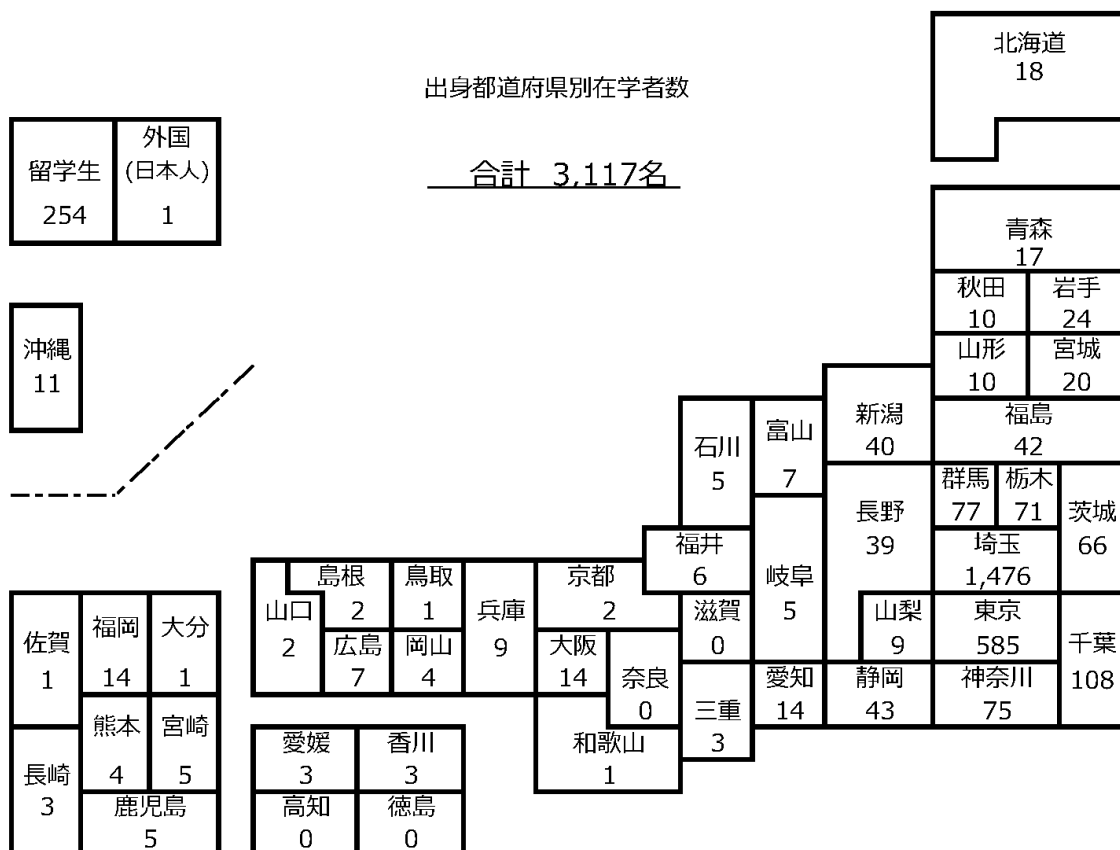
学部	志願者	入学者
芸術情報学部	506	416
編入学	48	28
合計	554	444
総合政策学部	87	73
編入学	26	19
合計	113	92
スポーツマネジメント学部	219	205

研究科	志願者	入学者
芸術情報研究科	63	32
総合政策研究科	12	10

□ 学生数

学部	在籍者数	研究科	在籍者数
芸術情報学部	1845	芸術情報研究科	60
総合政策学部	448	総合政策研究科	18
スポーツマネジメント学部	824		

□ 出身地別在学生情報



□ 留学生出身国・地域（学部在籍者、休学者を含む）

国名	人数	国名	人数	国名	人数
中華人民共和国	153	大韓民国	50	ベトナム	17
マレーシア	13	モンゴル	5	台湾	4
インドネシア	3	ネパール	2	ミャンマー	2
ロシア	2	メキシコ	1	タイ	1
バングラデシュ	1				

□ 社会人学生数

学部	人数
芸術情報学部	0
総合政策学部	0
スポーツマネジメント学部	0
芸術情報研究科	0
総合政策研究科	0

□ 卒業生数

学部	学科	令和4年度 (2022年度) 卒業生数	入学年度別内訳					
			H31 (2019)	H30 (2018)	H29 (2017)	H28 (2016)	編入	再入学
芸術情報学部	情報表現学科	240	209	23	0	1	7	0
	音楽表現学科	73	60	6	0	0	7	0
	音楽応用学科	81	72	6	1	0	2	0
	舞台表現学科	68	67	1	0	0	0	0
総合政策学部	総合政策学科	134	114	6	1	0	13	0
	ライフマネジメント学科	137	135	2	0	0	0	0

□ 卒業生・修了生総数

卒業生総数 (大学)	修了生総数 (大学院)	合計
11,923	496	12,419

□ 学位取得状況

入学年	学科	学位名称	入学者	学位取得者	学位取得状況
H31 (2019)	芸術情報学部 情報表現学科	学士（芸術情報）	254	209	82.3%
	芸術情報学部 音楽表現学科	学士（芸術情報）	82	60	73.2%
	芸術情報学部 音楽応用学科	学士（芸術情報）	89	72	80.9%
	芸術情報学部 舞台表現学科	学士（芸術情報）	89	67	75.3%
	総合政策学部 総合政策学科	学士（総合政策）	161	114	70.8%
	総合政策学部 ライフサポート学科	学士（総合政策）	176	135	76.7%
	計		851	657	77.2%

※編入学、再入学を除く

入学年	専攻	学位名称	入学者	学位取得者	学位取得状況
R3 (2021)	芸術情報研究科 情報表現専攻	修士（情報表現）	15	13	86.7%
	芸術情報研究科 音楽表現専攻	修士（音楽表現）	7	6	85.7%
	総合政策研究科 政策行政専攻	修士（総合政策）	9	8	88.9%
	計		31	27	87.1%

□ 卒業後の進路状況

令和4年度（全卒業生＝国内生＋留学生）

学科名	卒業生数 ※1	進路の内訳						
		就職 希望者数	就職者数※0 (就職率%※2)		進学者数※3 (大学院)		フリーランス 起業等者数	その他※4
情報表現学科	240	188	140	(74.5)	14	(8)	5	81
音楽表現学科	73	41	38	(92.7)	9	(3)	10	16
音楽応用学科	81	61	55	(90.2)	2	(2)	3	21
舞台表現学科	68	47	43	(91.5)	0	(0)	16	9
芸術情報学部 計	462	337	276	(81.9)	25	(13)	34	127
総合政策学科	134	79	69	(87.2)	18	(16)	1	46
ライフマネジメント学科	137	115	108	(93.8)	2	(0)	5	22
総合政策学部 計	271	194	177	(91.1)	20	(16)	6	68
全学 合計	733	531	453	(85.2)	45	(29)	40	195

※0 自営（家業継承者などを含む）

※1 卒業生数＝就職者数＋フリーランス・起業等者数＋進学者数＋その他

※2 就職率＝就職者数／就職希望者数

※3 進学者数＝大学院進学者数＋専門学校進学者数＋その他の学校進学者数＋留学者数（ ）内は大学院進学者数

※4 その他＝就職活動継続者＋アルバイト＋家事従事者＋就職希望せず＋不明、帰国（留学生）

令和4年度（全卒業生＝国内生のみ）

学科名	卒業生数 ※1	進路の内訳						
		就職 希望者数	就職者数※0 (就職率%※2)		進学者数※3 (大学院)		フリーランス 起業等者数	その他※4
情報表現学科	206	173	131	(75.6)	9	(3)	5	61
音楽表現学科	66	41	38	(92.7)	6	(0)	10	12
音楽応用学科	77	60	54	(90.0)	1	(1)	3	19
舞台表現学科	65	44	40	(90.8)	0	(0)	16	9
芸術情報学部 計	414	318	263	(82.6)	16	(4)	34	101
総合政策学科	48	39	33	(84.5)	1	(0)	1	13
ライフマネジメント学科	130	114	107	(93.9)	2	(0)	5	16
総合政策学部 計	178	153	140	(91.4)	3	(0)	6	29
全学 合計	592	471	403	(85.6)	19	(4)	40	130

※0 自営（家業継承者などを含む）

※1 卒業生数＝就職者数＋フリーランス・起業等者数＋進学者数＋その他

※2 就職率＝就職者数／就職希望者数

※3 進学者数＝大学院進学者数＋専門学校進学者数＋その他の学校進学者数＋留学者数（ ）内は大学院進学者数

※4 その他＝就職活動継続者＋アルバイト＋家事従事者＋就職希望せず＋不明、帰国（留学生）

□ 就職先

令和4年度 情報表現学科 就職先一覧

音響・照明・映像・舞台
株式会社エス・シー・アライアンス
四季株式会社
株式会社パシフィックアートセンター
株式会社トラストネットワーク
電音エンジニアリング株式会社
株式会社アシイナ
株式会社エクス・アドメディア
株式会社シネ・フォーカス
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
木下サーカス株式会社
株式会社E&W
株式会社ヨシダ舞台美術
株式会社金沢舞台
株式会社コスモ・スペース
株式会社東京コムエンス
株式会社共立映像
株式会社エスイーシステム
株式会社EIGHT
株式会社共立
株式会社アイズ
株式会社ウイング
株式会社レイ
株式会社サウンドクルー
株式会社東芸エンタテインツ

音楽・楽器・エンタメ
株式会社アゲハスブリングス・ホールディングス
Lush（渋谷ラッシュ）
有限会社タフビーツ
株式会社阪神コンテンツリンク
株式会社UPC

ゲーム・CG・アニメ
株式会社サンジゲン
株式会社ディレクションシーズ
株式会社ジェットスタジオ
株式会社 SILVERLINK.
株式会社 KATACHI

情報・通信・マスコミ
株式会社アウトソーシングテクノロジー
イナゾウ株式会社
株式会社アソウ・アルファ
株式会社ティファナ・ドットコム
株式会社プリマジェスト
株式会社 JR 東日本情報システム
株式会社 ZOSTEC
株式会社オープンアップシステム
株式会社システムアイ
株式会社テクノプロ テクノプロデザイン社
株式会社アミィアクティブ
株式会社オリエンタルインフォメーションサービス
株式会社ビーネックステクノロジーズ
ティーコム株式会社
株式会社アークライン
ワークスアイディ株式会社
株式会社ティー・アイ・シー
株式会社 GreatNavigation

メーカー・商社
株式会社卑弥呼
埼玉ダイハツ販売株式会社
株式会社愛光
三共木工株式会社
株式会社アースダンボール

サービス
株式会社 JR 東日本ステーションサービス
西濃運輸株式会社
株式会社リクルートスタッフィング
株式会社スタッフサービス
株式会社 STAR CAREER
株式会社ワールドインテック
株式会社アップコム
テクノプロ・ホールディングス株式会社
東建コーポレーション株式会社
株式会社 KDDI エボルバ
アルファクラブ武蔵野株式会社
シンコースポーツ株式会社
シノケングループ
株式会社ミス・パリ
株式会社シン・コーポレーション

サービス（小売）
株式会社マルエツ
株式会社パリミキ
株式会社ヨークベニマル
イオンリテール株式会社
株式会社コジマ
株式会社ヤオコー

医療・福祉
上尾中央医科グループ
株式会社ベストライフ

各種団体
公益財団法人前橋市まちづくり公社

レジャー・観光
KCJ GROUP 株式会社

令和4年度 音楽表現学科 就職先一覧

音楽・楽器・エンタメ
シアード株式会社
株式会社 K-BALLET
株式会社ヴィヴィッド・サウンド・コーポレーション

ゲーム・CG・アニメ
任天堂株式会社

教育機関
埼玉県教員(中学校)
埼玉県教員(特別支援学校)
栃木県教員(小学校)
宮城県教員(中学校)

各種団体
JA さがえ西村山
NPO 法人 北本学童保育の会 うさぎっ子クラブ

公務員
群馬県警察

サービス
株式会社埼玉冠婚葬祭センター
大成株式会社
日総工産株式会社
株式会社ワールドインテック
株式会社クリア

音響・照明・映像・舞台
株式会社戯音工房

サービス(小売)
株式会社富士薬品
株式会社マルエツ

メーカー・商社
株式会社ホンダカーズ埼玉北
神奈川スバル株式会社

医療・福祉
株式会社ケア21
社会福祉法人練馬区社会福祉事業団

令和4年度 音楽応用学科 就職先一覧

音楽・楽器・エンタメ
一般財団法人ヤマハ音楽振興会(ヤマハ音楽教室講師)
株式会社エクシング
株式会社テレビ東京ミュージック
株式会社サンミュージック出版
株式会社 BIG ISLAND RECORDS
ベルウッド・レコード株式会社
フェンダーミュージック株式会社
株式会社 imagineat
株式会社ボックス・コーポレーション
株式会社スーパーキャスト
株式会社 SoCo Group

メーカー・商社
株式会社ネクステージ
株式会社 STN
株式会社シノダ

ゲーム・CG・アニメ
株式会社レベルファイブ

音響・照明・映像・舞台
WOWOW エンタテインメント株式会社
有限会社中央舞台サービス
株式会社ステージ
株式会社 TYO
株式会社パナ・エンタープライズ
株式会社 FUKUMIMI

情報・通信・マスコミ
株式会社 SORA
NHK 日本放送協会(地域職)
株式会社マネジメント・ブレインズ
パークレイググローバルコンサルティング&インターネット株式会社
イートラスト株式会社

レジャー・観光
西武・プリンスホテルズワールドワイド
相模湖リゾート株式会社

サービス(小売)
株式会社ツルヤ
株式会社ぱぱす(マツキヨココカラ&カンパニー)
株式会社夢真

サービス
株式会社 MAXIS エデュケーション
株式会社物語コーポレーション
株式会社ビーネックスパートナーズ

医療・福祉
株式会社 CLOVER
医療法人社団大佑会 麴町明光耳鼻咽喉科
ミモザ株式会社

令和4年度 舞台表現学科 就職先一覧

音響・照明・映像・舞台
株式会社マエヤマ
株式会社タノシナル
株式会社パシフィックアートセンター
株式会社エクス・アドメディア

音楽・楽器・エンタメ
株式会社ノア

教育機関
株式会社 JP ホールディングス
株式会社日本保育サービス

サービス
株式会社セントラルサービスシステム
大和フーズ株式会社
芝園開発株式会社
株式会社 LIFE CREATE
セイハネットワーク株式会社
株式会社リクルート

サービス (小売)
株式会社ストライプインターナショナル
上新電機株式会社
株式会社クロップス

医療・福祉
医療法人社団白報会

レジャー・観光
株式会社マイステイズ・ホテル・マネジメント
有限会社オクダ

メーカー・商社
株式会社テイク
ハマヤ株式会社
ME ホールディングス株式会社
株式会社イング
株式会社中川政七商店
株式会社洋菓子舗ウエスト
株式会社パル

その他
富岡八幡宮

令和4年度 総合政策学科 就職先一覧

公務員
埼玉県警察
大阪府警察

スポーツ
株式会社総合体育研究所埼玉

各種団体
JA 長崎

教育機関
学校法人尚美学園

医療・福祉
独立行政法人国立病院機構 関東信越グループ

サービス
株式会社すかいらーくホールディングス
株式会社松屋フーズホールディングス
株式会社東洋
日研トータルソーシング株式会社
Evand 株式会社
株式会社ジンザイベース
株式会社グロップ
THE パートナーズ株式会社
イオンディライト株式会社
株式会社エラン
株式会社 ENJOY JAPAN

サービス (小売)
株式会社クスリのアオキ
株式会社ベルク
株式会社エフケイ
株式会社マニウコーポレーション

情報・通信・マスコミ
株式会社テクノスジャパン
株式会社シエルシステム
揚采システム株式会社
株式会社第一コミュニケーショントラスト
株式会社ピーエスシー

メーカー・商社
株式会社山本製作所
株式会社小泉
株式会社イエローハット
埼玉トヨペット株式会社
オーシャンパール株式会社
ミツワ電機株式会社
株式会社エイブル
テクノブリッジ NKE 株式会社
大東建託リーシング株式会社
株式会社リブプラス

令和4年度 ライフマネジメント学科 就職先一覧

スポーツ
株式会社 nobitel
株式会社 THINK フィットネス
株式会社フージャースウェルネス&スポーツ
株式会社東武スポーツ
株式会社 VONDS 市原
株式会社図南クラブ
株式会社 ATORIE
J-スポーツフットボールクラブ
JR 東日本スポーツ株式会社
株式会社関東ジュニアスポーツクラブ
株式会社エイジェックススポーツマネジメント
セントラルスポーツ株式会社
株式会社 FEEL CONNECTION
株式会社 LAVA international
株式会社 ZEN PLACE
株式会社 ママダ
株式会社サークフィット
デサントジャパン株式会社

教育機関
有限会社羽生モータースクール
株式会社 Birth47
株式会社 Gravis
株式会社ジャクパ
入間市教育センター
秀明大学学校教師学部附属秀明八千代高等学校(教員)

レジャー・観光
富士屋ホテル株式会社
株式会社星野リゾート

公務員
千葉県警察
鋸南町役場
松伏町役場

サービス
株式会社エイジェック
株式会社 NEXT スタッフサービス
UT グループ株式会社
株式会社ワークポート
株式会社 KSP
株式会社東日本宇佐美
株式会社ハヤシ
株式会社オン・ザ・プラネット
株式会社マーキュリー
株式会社 PRIME CHANGE
株式会社 No.1
株式会社アクシアエージェンシー
株式会社エスコ
株式会社いーふらん
株式会社 eighth tool
株式会社ベアーズ

サービス (小売)
株式会社まんだらけ
株式会社ヴィクトリア
株式会社ヤマダホールディングス
川畑株式会社
株式会社日本テレメッセージ
株式会社アダストリア
株式会社アップビート
株式会社高津戸電子

メーカー・商社
トシン・グループ株式会社
株式会社ビッグモーター
株式会社日立ビルシステムエンジニアリング
株式会社ホンダカーズ埼玉中
株式会社アクセル
山屋食品株式会社
ポラス株式会社
株式会社富士住建
株式会社フェニックス
コカ・コーラボトラーズジャパンベンディング株式会社
株式会社トヨタレンタリース新埼玉
株式会社ヤマト・イズミテクノス
AZEST-GROUP
株式会社イデアル
特定非営利活動法人 NEOS スポーツクラブ

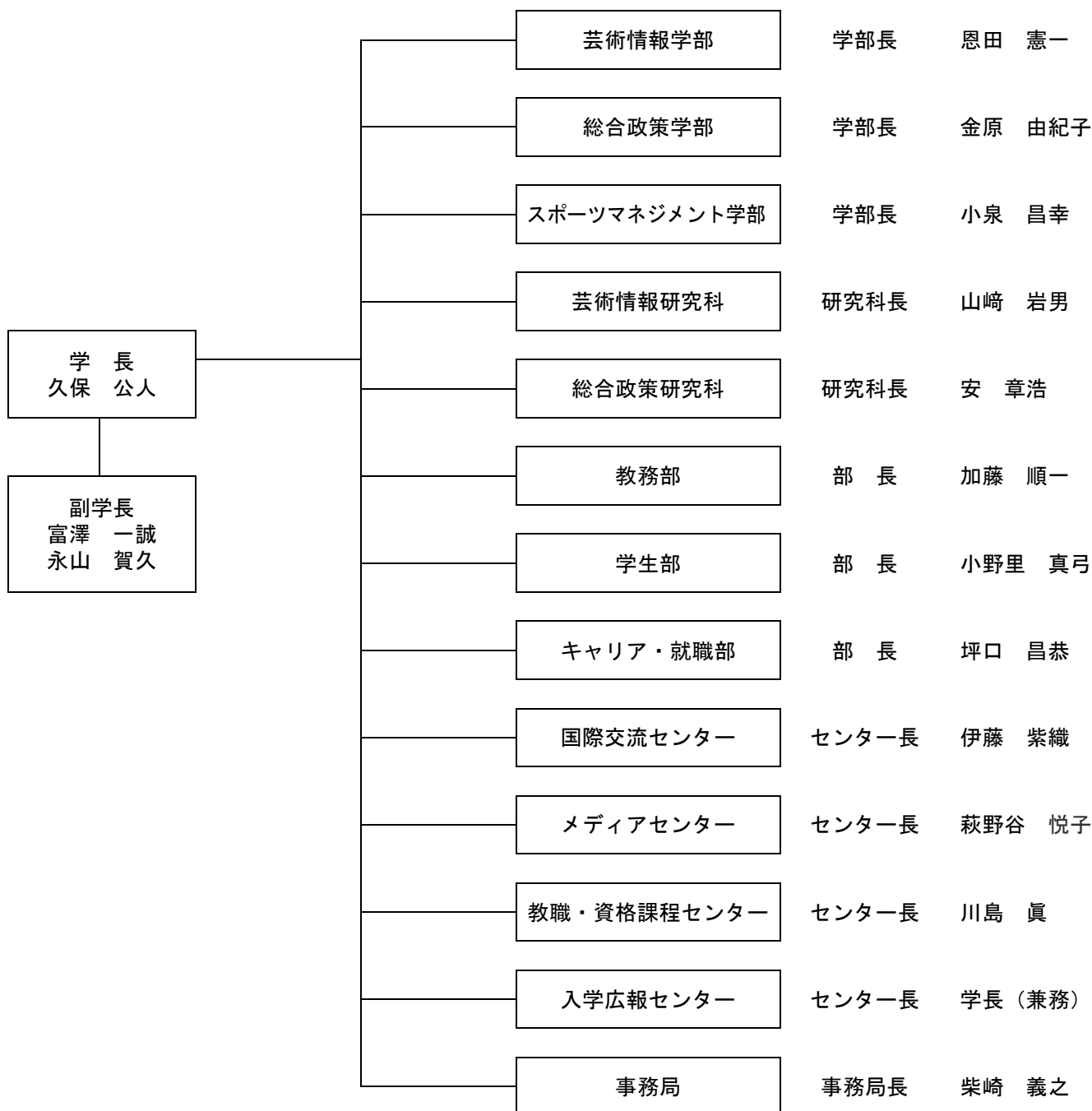
各種団体
公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団

金融
備北信用金庫

情報・通信・マスコミ
フォース株式会社
株式会社テレビ朝日サービス
株式会社 Wiz
株式会社エクスコア

医療・福祉
株式会社ニチイケアパレス
医療法人社団草芳会三芳野病院
HITOWA ケアサービス株式会社
社会福祉法人川越にじの会

運営組織



事務組織

<事務局>

教務課…教務、教職・資格に関すること

学生課…学生諸活動、奨学金関連、後援会（保護者会）・尚友会（同窓会）関連、国際交流・留学生支援に関すること

メディアセンター事務課…メディアセンターに関すること

キャリア・就職課…キャリア支援に関すること

広報課…大学広報、学生募集に関すること

入試課…入試に関すること

庶務・管理課…キャンパス整備、大学全般の庶務に関すること

教職員データ

□ 教職員数

専任教員（学長・副学長含まず）	88	非常勤講師	238	教員計	326
専任職員（パートタイム含む）			88	職員計	88

□ 職階別教員数

	教授	准教授	講師	助教	合計
芸術情報学部	28	18	6	0	52
総合政策学部	12	7	0	0	19
スポーツマネジメント学部	9	5	3	0	17
合計	49	30	9	0	88

□ 男女別教員数

専任教員		兼任（非常勤）教員	
男性	女性	男性	女性
70	18	151	87

□ 年齢構成別教員数

	66～70	61～65	56～60	51～55	46～50	41～45	36～40	31～35	26～30	合計
芸術情報学部	1	10	17	11	6	3	3	0	1	52
総合政策学部	0	2	3	6	3	3	1	1	0	19
スポーツマネジメント学部	2	4	1	2	2	3	3	0	0	17
合計	3	16	21	19	11	9	7	1	1	88

□ 科学研究費補助金等研究助成等の状況

	令和4年度 申請数	令和4年度 採択数
芸術情報学部	1	0
総合政策学部	2	1
スポーツマネジメント学部	1	0

□ [専任教員の保有学位・研究業績等](#)

□ 専任教員一覧 (50音順)

芸術情報学部 情報表現学科 (学科長 定平 誠)

【教授】

石井 満	伊藤 紫織	岡本 雄司	恩田 憲一	樫村 雅章
定平 誠	須藤 智	寺井 智子	野上 竜一	華山 宣胤
春口 巖	宮澤 光造	山寺 紀康		

【准教授】

赤崎 勝彦	大井田 かおり	柿崎 景二	河内 裕二	川口 肇
土井 直哉	福岡 元啓	藤橋 誠		

【専任講師】

熊谷 雅良	坂本 サク	里見 慶		
-------	-------	------	--	--

芸術情報学部 音楽表現学科 (学科長 後藤 文夫)

【教授】

片岡 大志	川島 眞	河内 純	小島 有利子	
後藤 文夫	坪口 昌恭	宮本 憲二		

【准教授】

林 容子	藤田 千章	前田 拓郎		
------	-------	-------	--	--

【専任講師】

齋藤 真由美

芸術情報学部 音楽応用学科 (学科長 竹内 誠)

【教授】

井上 昌美	重野 知央	竹内 誠	村木 益実	
-------	-------	------	-------	--

【准教授】

漢那 拓也	古澤 彰	宮木 朝子		
-------	------	-------	--	--

【専任講師】

川浦 義広

芸術情報学部 舞台表現学科 (学科長 山崎 岩男)

【教授】

伊藤 大	岡村 宏懇	小林 仁	山崎 岩男	
------	-------	------	-------	--

【准教授】

青井 智佳子	大隅 智佳子	清水 典人	関 聡太郎	
--------	--------	-------	-------	--

【専任講師】

三輪 亜希子

総合政策学部 総合政策学科 (学科長 三野 裕之)

【教授】

加藤 順一	加藤 弘之	金原 由紀子	木村 光太郎	
小林 和久	小林 正英	櫻井 準也	高橋 雅子	
伊達 雅彦	三野 裕之	安 章浩	廖 海濤	

【准教授】

大西 麗衣子	角谷 淳	上村 博昭	高橋 幸裕	
田中 啓太	畑中 綾子	御手洗 大輔		

スポーツマネジメント学部 スポーツマネジメント学科 (学科長 真下 英二)

【教授】

海老原 修	大野 好司	小野里 真弓	小泉 昌幸	櫻井 光行
佐野 慎輔	荘 発盛	萩野谷 悦子	真下 英二	

【准教授】

梶 孝之	田中 充	宮坂 雄悟	森田 重貴	若山 典生
------	------	-------	-------	-------

【専任講師】

仁木 康浩	舟木 泰世	茂木 康嘉		
-------	-------	-------	--	--

□ [学校法人尚美学園](#) [ホームページ](#)